

第26回東京大学環境安全研究センターシンポジウム 「PM2.5の実態と健康影響・気候影響」

開催日時

平成 28 年 12 月 20 日 (火) 13 時 30 分～ 17 時 00 分 (開場 13 時 15 分)

場 所

東京大学 武田先端知ビル・武田ホール
(東京都文京区弥生 2 - 11 - 16 東京大学浅野キャンパス内)
(裏面の地図をご覧ください。)

主 催

東京大学環境安全研究センター

●シンポジウムの趣旨

最近、大気汚染の話題には「PM2.5」という言葉がしばしば登場してきます。PM2.5とは、大気中にただよっている、大きさが2.5ミクロン以下の粒子のことで、英語の“Particulate Matter under 2.5 micrometer”の略です。日本語では、「微小粒子状物質」と呼ばれています。以前からその有害性が指摘されてきましたが、この10年ほどでPM2.5に関する研究が大きく進んできています。このシンポジウムでは、PM2.5がどのようなもので、人や地球環境にどのような影響を与えるかについて、各方面のご専門の先生方にやさしく解説していただきます。

●プログラム

13:30

開会挨拶

東京大学環境安全研究センター長 大島 義人

13:40

理事・副学長挨拶

東京大学理事(環境安全担当)・副学長 南風原 朝和

13:50

主旨説明「PM10の時代からPM2.5の時代まで」

東京大学環境安全研究センター 教授 尾張 真則

14:05

「PM2.5の急性心筋梗塞・院外心原性心停止発症に対する影響と高感受性集団の同定」

熊本大学大学院生命科学研究部 特任准教授 小島 淳

14:45

「高分解能質量イメージング装置の開発 —PM2.5を一粒ずつ分析して判ること—」

工学院大学先進工学部・教授
(元 東京大学環境安全研究センター・助教授) 坂本 哲夫

15:25

休憩

15:40

「地上と上空のPM2.5を測る —常時監視測定局とライダー観測網—」

国立研究開発法人国立環境研究所地域環境研究センター
主任研究員 清水 厚

16:20

「ブラックカーボンエアロゾルの気候影響」

東京大学名誉教授
情報・システム研究機構国立極地研究所 特任教授 近藤 豊

17:00

閉会

参加費／無料

申込み方法：はがきまたはe-メールに、①氏名、②年齢、③住所、④連絡先電話番号および⑤メールアドレス(無記載でも可)、⑥所属(ご所属がない場合には記載不要)をご記入の上、12月13日(火)までに下記の宛先までお申し込みください。なお、当日受付も可能です。



●問合せ・参加申込先

東京大学環境安全研究センター シンポジウム係 宛

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号
TEL: 03-5841-2972 FAX: 03-5841-1233
e-mail: 2016escsympo@esc.u-tokyo.ac.jp

東京大学浅野キャンパス 武田先端知ビル・武田ホール 案内図

アクセスマップ

東京メトロ千代田線 根津駅より徒歩5分

東京メトロ南北線 東大前駅より徒歩7分

